

# 「交流サロン」だより

in 大仙 3月号

2025

マイフォト一言

天気が良かったので春の兆しを撮ってみました、そっちこっちほっつき歩いたのですが、まだ

4月の交流サロン  
4月27日(日)  
「折り紙」

今年の展示テーマは、  
「二十周年記念」と決まりました、どんな作品が出来るか今から楽しみです

さよう：はぴねす大仙  
参加費三百円  
小学生以下無料

意見が活発に交わされ、たじたとする場面も多くあり、楽しくいびられているのが実情です!! 来年度の計画内容にあまり変化はありませんが多分楽しいサロンになること間違いのないと思っています!!

【今月の昼食】主食：野菜たっぷりの餡かけ焼きそば（白菜・青梗菜・椎茸・パプリカ・海老）、中華風わかめスープ、白菜の醤油漬（スルメ・昆布）、セロリの漬物塩味、たっぷりの野菜入りなので副菜は漬物とスープとなりました。写真では餡かけの状態を確認できませんがアップにすると艶やかな餡がわかります!! 中華屋さんのような美味しい焼きそばができてありがたかったです。文旦の絵は珍しい果物なのであげてみました。食後のデザートとして・・・



いただき物ですが珍しい果物です（文旦）



豪華な「餡かけやきそば」如何です？

今年度も皆様方のご理解とご協力をいただきまして「交流サロン」を運営することが出来ました。心から御礼を申し上げます。また、令和七年度につきましても宜しくお願い致します。さて、先日、秋田市の遊学舎で行われた「三、一」追悼の儀に参加させていただきました、正直、もう十四年も経ってしまったと言う想いでした。ただ、参列して黙とうをしている時に、ふと、あの時の記憶が残ったまま時間だけが過ぎていくのだな!! と、何故かそうに感じていました。自然災害には遭遇しない方が良いに決まっていますが災害多発列島に住む私たちは、何らかの形でかわってきます!! それをいかに最小限に食い止めるかが大きな課題と考えます!! その時「どうする」一年に一度でもいいですから、この様な日を機会に家族と災害について話し合っ

て見たら如何でしょうか・・・

私たちが「交流サロン」を継続している意味は、辛かった記憶をいつか話せる時が来たら語ることが出来る場を作って置きたい、いまだに話せない、思い出したくないと言う方がおります、一人で想い込めないで、自らを解放できる日がいつか来ることを願っています!!

マイフォト「羽後長野駅 通過!!」 令和7年3月24日 12:06 頃



芽吹きもなく残念ながら「春」と言う絵は見つかりませんでした。仕方なく、と言うわけではありませんが「羽後長野駅」を通過する「こまち」をとらえました!! こうして見る

今月の「交流サロン」から

令和6年度最後の「交流

サロン」内容は実績を見ると昨年度と同じように見えますが、それぞれの回には色々な物語がありました。

一年を通して予定通り開催できることのありがたさや急遽変更を余儀なくされたときに、快く場所を提供していただいたことなど、今年も皆さんに助けられてサロンの運営を維持することが出来ました。正直なところ参加者数は横ばいで細々とした感じですが、参加者の熱意は強く感じられます

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇九六七〇二八五二